

令和7年度 事業計画書

社会福祉法人 青い鳥

目 次

1. 社会福祉法人 青い鳥・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
法人本部
2. 生活介護事業・就労継続支援 B 型事業・・・・・・・・ 3 ページ
日本平学園
3. 共同生活援助(包括型)(グループホーム)事業・・・・・・・・ 5 ページ
日本平ホーム
日本平ハイツ
4. 短期入所(ショートステイ)事業・・・・・・・・ 7 ページ
日本平ホーム短期入所事業所

令和7年度 社会福祉法人 青い鳥「法人本部」事業計画

法人理念 共に悩み、共に感動し、共に認め合える法人を目指します。

基本方針 障がいの有無にかかわらず個人の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう地域支援を推し進める。利用者本人とその家族の思いや願いに寄り添い、一人ひとりに合った支援を行う。

令和7年度の事業計画		
1. 職員の人材確保（外国人採用、新卒者獲得等）及び職員教育の推進 2. 新規利用者の確保 3. 地域貢献事業の実施及び推進 4. 役員改選の完遂及び理事会、評議員会の定期開催		
重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
1	(1) 人材確保 ① 外国人採用(1～2名) ② 新卒者採用(1～2名) ③ 職員補充（2ヶ月以内補充）	・外国人採用ルートとの連携継続 ・外国人受入準備、受入後の教育の徹底 ・既存職員の外国人受入れノウハウの周知 ・大学、専門学校等への訪問、連携強化 ・就職フェア等募集イベントへの参加 ・ハローワーク、シルバー人材センター等との連携強化 ・新規求人業者の開拓
	(2) 職員教育(年間5件以上の外部研修参加)	・新入職員への教育徹底 ・外部研修への参加、内部研修の実施
2	(1) 新規利用者確保（1～2名）	・特別支援学校への訪問、情報収集 ・職場実習生への働きかけ強化 ・相談支援事業所(相談員)訪問、情報収集 ・特別支援学校高等部1, 2年生への働きかけ ・日本平学園の周知、宣伝実施

重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
3	(1) 地域社会への貢献（交流等年間 3 件以上）	・地域との交流会の企画、実施 ・地域大学等教育機関への協力（実習生受入、講演等） ・圏域地区社協との連携
4	(1) 役員改選（期日迄に完遂） (2) 理事会、評議員会の定期開催 （理事会 4 回、評議員会 4 回）	・次期役員候補の選出 ・理事長、副理事長、理事の選出 ・新規体制の登記完遂 ・定時開催及び必要に応じた臨時の開催の継続

令和7年度 生活介護・就労継続支援B型事業「日本平学園」事業計画

- 運営方針
- (1) 利用者個々の実態に合わせた支援により、社会参加と自立に努める。また、就労意欲の向上を図り、一人でも多く社会へ送り出すことが出来るようにする。
 - (2) 利用者の重度化に対応するため、きめ細やかな援助を行い健康管理にも留意して、本人はもちろん保護者の負担軽減を図る。
 - (3) 学園の諸行事を通して利用者の情緒安定と保護者の理解や、協力を高める。また、地域交流を目的とした行事を実施し、地域の方々の理解や連携を深めるように努める。
 - (4) 静岡市内の他施設や各機関、企業との交流を深めて、作業能力の向上を図り、就労の促進に努める。

令和7年度の事業計画		
1. 利用者の健康維持及び安全確保 2. 利用者支援の質の向上 3. 作業工賃の支給継続		
重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
1	(1) 健康維持（健診等の実施）	・健康診断(山田医師による健診、済生会による健診（計2回）の実施 ・インフルエンザワクチン接種実施 ・感染症予防の実施（検温、消毒、空気清浄等）
	(2) 安全確保（事故ゼロ）	・施設内の6Sの推進、強化 ・危険物の除去、整理整頓の徹底 ・事故発生時の適切な初動 ・「トラブル及びその対応報告書」の活用
2	(1) 支援の基本の理解促進	・職員倫理綱領に基づいた虐待の無い、利用者主体となる支援の徹底(チェックの継続) ・職員間での支援検討会議の実施 ・保護者との話し合いの実施 ・自己研鑽及び研修機会の提供

重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
3	(1) 作業工賃支給の継続	・委託作業や物品販売等で工賃を得て、利用者への工賃支給を継続していく ・工賃単価や委託作業自体の見直す機会を設け、改善或いは切り替え等検討していく ・新規作業開拓等も常に念頭に入れ、社会情勢に関らず工賃支給が継続出来るようにする

事業体系及び定員・現員		
多機能型	定員 40 名(生活介護 24 名、就労継続支援 B 型 16 名) 現員 42 名(生活介護 26 名、就労継続支援 B 型 16 名)	
利用者の日課		
9：00～10：00	施設到着	着替え、トイレ等
10：00～11：45	午前の活動	作業活動、機能訓練等
12：00～13：00	昼食、昼休み	食事介助、片付け、午後の準備
13：00～15：20	午後の活動	作業活動、機能訓練等
15：20～15：30	帰宅準備	持ち物確認
15：30	帰宅	降園、送迎車出発
職員体制		
・施設長 1 名		
・サービス管理責任者 1 名		
・生活支援員 12 名(うち 1 名 9 時～16 時、1 名 10～15 時、2 名 10～16 時勤務の非常勤)		
・職業指導員 1 名		
・目標工賃達成指導員 1 名		
・嘱託医、看護師 各 1 名		
・事務員 2 名		
・調理員 1 名		
・運転手 2 名		

令和7年度 共同生活援助(包括型)事業

「日本平ホーム」「日本平ハイツ」事業計画

運営方針 生活している利用者が、心休まる生活を送れることを大切にする。日本平ホーム、日本平ハイツでは、利用者が様々な社会経験を行えるようホーム全体で取り組み、意思決定できる環境をつくり、働くことや暮らしへの目標・生きがいの創出に繋がられるよう支援する。

令和7年度の事業計画		
(日本平ホーム、日本平ハイツ)		
1. 24時間365日稼働に向けた取り組み 2. 地域連携推進会議の開催 3. 入居者の健康維持、安全確保 4. 職員の確保		
重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
1	(1) 夏休み(お盆)期間の開所 (8月14～17日) (2) 土曜、日曜の開所 (段階的に実施)	・24時間365日開所に向けた体制の整備 ・段階的な実施計画の策定 ・職員募集の推進 ・職員教育の実施
2	(1) 地域連携推進会議の開催 (5月～7月)	・第1回目の会議開催及び見学会の実施 ・会議記録の作成及び公表
3	(1) 入居者の健康維持、安全確保 (事故ゼロ)	・日常の健康チェックの継続（検温、消毒、表情、行動等の観察）～専門医受診の促しの実施 ・服薬管理、定期通院の徹底 ・建物内の整理整頓、危険個所の改善等
4	(1) 職員の確保（体制確立）	・欠員職員の募集、確保 ・休日に対応出来る職員の募集 ・外国人採用の推進 ・ハローワーク等職業紹介事業所への訪問

職員体制	
(日本平ホーム)	
6 : 3 0 ~ 1 5 : 1 5	世話人 1 名
7 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0	生活支援員 1 名
1 5 : 3 0 ~ 1 9 : 0 0	世話人 1 名
1 5 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0	生活支援員 1 名
2 0 : 3 0 ~ 翌 7 : 0 0	宿直職員又は夜勤職員
(日本平ハイツ)	
6 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0	世話人 1 名
1 5 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0	世話人 1 名
月額利用料	
(日本平ホーム・日本平ハイツ)	
・家 賃	4 0 , 0 0 0 円 (1 0 , 0 0 0 円の補助あり)
・食 費	朝食 3 8 0 円、夕食 5 7 0 円、(×食した数)
・光熱水費	7 , 0 0 0 円
・日用品費	5 , 0 0 0 円

令和7年度 短期入所事業「日本平ホーム短期入所事業所」事業計画

運営方針 利用者の自立のサポートとその家族の心身の負担軽減のために、個々のニーズに合った柔軟なサービスの提供に努める。利用者の立場になって思いやりを持った支援を行う。

令和7年度の事業計画		
1. 利用稼働率の向上 2. 利用者の健康維持、安全確保 3. ご家族の負担軽減		
重点項目		
No.	重点項目（目標値）	取り組む内容
1	(1) 利用稼働率の向上（80%以上）	・短期入所利用希望者の拡大 ・複数回利用の促し ・相談支援事業所への働きかけ（外部より）
2	(1) 利用者の健康維持、安全確保（事故ゼロ）	・健康状態の把握及び異変時の対応 ・服薬管理の徹底 ・建物内の整理整頓、危険個所の改善等
3	(1) ご家族の負担軽減	・連泊の促し ・持参荷物の削減
職員体制		
15：00～19：00 世話人1名 15：30～20：30 生活支援員1名 20：30～翌7：00 宿直職員又は夜勤職員1名 6：30～15：15 世話人1名 7：30～10：30 生活支援員1名		
日額利用料		
・食費 朝食380円、夕食570円 ・光熱水費 100円 ・日用品費 200円		
		合計1,250円